EX. VIEW

2003年 夏号

Vol.18





● EXプランニングコンテスト入賞店発表	. 1~
🔵 リュック流ガーデン講座	. 6~
◎ 設計ノート	. 9 ~ 1
🔵 2003年 エクステリア商品展示会開催	.13 ~ 1
◯ 春の主な新製品	.13 ~ 1
御庭会通信	裏表
御庭番スタッフ紹介	裏表

表紙:村西恵津氏/イラストレーター・デザイナー インテリア・生活小物デザイン等幅広く制作活動... 2000年九州・沖縄サミットでは、公式贈答品とな った扇子の挿し絵を手がける。

プランニングコンテスト コンテスト総評

街並みとは視線の交流の場である、とも言えます。街を歩くことの楽しさは、単なる家の 連続を超えた何かを感じ取ることができるからなのでしょう。エクステリアデザインとは、 この何かを創り上げて行く作業であり、街行く人、その内側に住む人の視線を、総対的感 覚で捉えてゆく事が重要な要素となっていると思えます。

エクステリア

伝統的な街並の美しさは誰もが認める所であり、その美しさは一体、どこに由来するのか を考える時、私達の視線を柔らかく優しくさせてくれるいくつかの装置に思い当たります。 垣根越しに見える庭先の緑、町屋のリズミカルな格子、店先の揺らぐ暖簾など伝統的な手 法がいくらでもありました。しかし、現代の過密化した都市では、そのような余裕はほと んどなくなり、周囲への無関心や拒絶したポーズが主流となっているようです。価値観の 多様化した現代社会では、個の確立、プライバシーの確保が最優先になるのはいたし方 なく、外部からの視線を遮る事が要求されるのはやむをえない事ではあります。視線を、 遮りながら透過させるところは見せる、このような視線を制御する事をもう一度見直し、 エクステリアデザインを考える事が、今、大切になっていると思えます。視線の制御には、 伝統的手法と共に現代の手法と呼べる多種多様な部材がまわりに提供されていると思い ますし、メーカーとしても現代の街並への装置創りに努力しています。

この過密な現代の街並にとってエクステリアデザインへのニーズや期待度は、この時代 だからこそ必要性が高くなっているようです。このコンクールにおいても例年に比して今 年の盛り上がりは高く、これは、皆様のエクステリアデザインへの関心と日常の作業にお ける社会への責務を持ちながら、業務に対しておられる現れだと思えます。審査員一同、 そのような皆様のパワーを感じ取りながら、大変に困難な審査作業をいたしました。実際 に計画されている多くのプランが、現代の都市に対してひとつの解答や提案を見せてい る事に大いに喜ばしく感じると共に勇気づけられた想いです。



笠島 孝至氏プロフィール

環境造形デザイナー 株式会社 スーパープランナーズ代表取締役 '70年-千葉大学工業意匠学科卒 '71年-早稲田大学建築専修学部で 学ぶ '75年-株式会社スーパープランナーズ設立 東京サミット等の イベント会場デザイン、店舗及び住宅設計、造園デザイン等を手がける。

入賞店一覧

賞 ポラスガーデンヒルズ 株式会社 株式会社 春光園 株式会社 広島美建 E&A設計 株式会社 株式会社 旭エクステリア サニー住宅設備 有限会社 株式会社 エクステリア福井

ベストプラン賞 株式会社 グリーン京阪 株式会社 景匠館 四国営業所 金 當 有限会社 横山工業 株式会社 多々良造園 株式会社 大建工業 銅 株式会社 桑和 住友林業緑化株式会社 神戸営業所

金 トーナン建設工業 株式会社 富士和工業 株式会社 銀 尾上建設 株式会社 千葉グリーンセールス 株式会社 アベ建材 株式会社 株式会社TOTO水彩プラザ金沢 株式会社 タケシタホーム ナゴヤ・ディ・ディ

アーバングレー部門 株式会社 グリーン京阪

新和風提案









都市型住宅では敷地内のプライベート空間、道路側のパブリック部分をどのように仕 切るかは、街並を考える意味でとても大切と言えます。日本の伝統的独立住居では、塀 門、玄関と幾重にも積層する装置でパブリックとプライベート部が連結され、その部分 のデザインにかなりの精力が傾けられてきたと思われます。 都市が高密度化し、敷地 が狭小化するなかで日本の街並の豊かな美観を取り戻す手法は、今、エクステリアを

デザインするにあたって重要な課題となっています。 この作品は、建物と道路との狭い空間を和の伝統 的要素を取り入れた巧みなデザイン手法で解 決され、ひとつのヒントを与えてくれています。 大きくカーブするコンクリート打ち放し塀の 梁部は、浮遊感ある塀として境界ラインを穏 やかに仕切り、竪格子の隙間からは玄関ポー チや内部の植栽などが見え隠れして、道行く人

に心地よいリズム感を与えます。 門扉が取り付けら

れた実際の塀部は直線デザインなので、道路ラインよりセットバックさせ、格子部、打 ち放し部と重ねて見せる事でエクステリアファサードに立体感を与え、単に仕切り塀に なる所を深みある意匠でまとめています。また、その塀に施した左官材料とアーバン グレーの持つ現代的な素材感

の巧みなコーディネイトが、 街並に豊かさを与えています。

